

令和5年8月2日

一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会

令和5年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（廃棄物処理施設を核とした地域循環共生圏構築促進事業）のうち、以下の事業に対する公募結果について

- (3)-2 電線、変圧器等廃棄物発電により生じた電力を利活用するための設備、これらの設備を運転制御するために必要な通信・制御設備等を導入する事業
- (4)-2 熱導管等廃棄物の処理により生じた熱を利活用するための設備、これらの設備を運転制御するために必要な通信・制御設備等を導入する事業
- (5) 廃棄物処理施設からの余熱や発電した電力を地域において有効利用するために、熱や電力を利活用する設備設置に対する余熱見込量や事業採算性の検討等を行い事業としての実現可能性を調査する事業

当協会は、標記の件について、令和5年5月29日(月)から令和5年6月16日(金)まで第二次公募を行い、応募案件の審査を行った結果、下記の1件を採択しました。

記

- 1 電線・変圧器等廃棄物発電により生じた電力を利活用するための設備、これらの設備を運転制御するために必要な通信・制御設備等を導入する事業（単年度事業分）

応募事業者数：0件

- 2 熱導管等廃棄物の処理により生じた熱を利活用するための設備、これらの設備を運転制御するために必要な通信・制御設備等を導入する事業（単年度事業分）

応募事業者数：0件

- 3 廃棄物処理施設からの余熱や発電した電力を地域において有効利用するために、熱や電力を利活用する設備設置に対する余熱見込量や事業採算性の検討等を行い事業としての実現可能性を調査する事業

応募事業者数：1件 採択事業者数1

申請団体名	エネルギー供給施設	事業概要
一関地区 広域行政組合	新設一般廃棄物 焼却工場	新工場のごみ焼却時の余熱を、隣接農地に建設を計画する温室ハウスの暖房熱源として活用し、従来のA重油を用いた重油加温方式により発生するCO2を削減する。 また、木質チップの乾燥熱源として使用し、従来の灯油を用いた灯油加温方式により発生するCO2を削減する。